

## 平成28年度主要視察項目

番号	対象事業	事業概要
1	災害対策本部情報システム整備事業	新庁舎建設に合わせ災害対策活動の拠点として、災害対策本部室を整備するとともに、災害対応の迅速化、効率化を図るため災害対策本部情報システムを導入しました。
2	庁内LAN無線化事業	本庁舎内で使用している行政系ネットワークについて、無線でも提供する。機器の整備は既に終わっており、今年度中に運用開始する予定。 ※基幹系ネットワーク(住記等で使用)は対象外
3	市政広報テレビ番組制作	本市職員が、シナリオ作成、撮影、編集、全てを行っている。職員自らが制作することから機動力に富み、本市が取り組んでいる事業等を効果的にテレビ番組で市民に周知することができる。四半期ごとに各課所室に打診し、広報すべき事案の掘り起こしを行っている。
4	「ゼイキッズ」活用事業	全市民が、税の仕組みや使途、目的などを考えるきっかけを創出し、市政運営の基本となる税に対する理解を深めてもらうことを目的に作成したキャラクターを活用し、租税教室などで税のPRを行っています。
5	第2期秋田市滞納整理計画	平成30年度末までに、市全体で計画対象債権に係る未収金を、平成26年度比で約16%削減することを目標に掲げています。
6	総合窓口支援システム等構築事業	フロアマネジャーの案内と番号券の配付により、来庁された方を受付から証明書等交付まで一元管理することで、効率的かつ迷わせない動線を確認し、ワンストップの総合窓口で手続きを完了させます。
7	地域づくり交付金事業	各地域の町内会や地区振興会などを対象に、地域の課題解決や地域力向上などに取り組む公益的な活動を支援します。
8	エイジフレンドリーシティ(高齢者にやさしい都市)について	誰もが安心して暮らすことのできる持続可能な社会構築のため、世界保健機関が提唱するエイジフレンドリーシティ(高齢者にやさしい都市)の実現を目指し、市民一人ひとりがその理念を理解し、高齢者が「社会の支え手」として能力や経験、知識を十分に発揮できる社会を確立するための様々な事業を実施しています。
9	がん検診割引制度	胃がん、大腸がん、乳がんおよび子宮頸がん検診の受診者で、それぞれのがんにかかりやすい年代、又は、その手前の年代の方を対象に、自己負担額を無料又は受けやすい低額の料金にします。
10	ふたりの出会い応援事業(シングルズカフェ秋田)	独身の男女が気軽に交流できる場として「シングルズカフェ秋田」を開設する。飲食店等を利用した出会いの場を定期的に提供することにより、人口減少対策の一環とする。
11	第2子保育料無償化事業	現在第1子を持つ世帯で、平成28年4月2日以降に子どもが生まれた世帯を対象として、一定の所得制限のもと、第2子以降の保育料を無償化します。

番号	対象事業	事業概要
12	秋田城跡歴史資料館整備事業	最北の古代城柵秋田城跡の出土品や調査成果を公開する展示施設として、歴史資料館を新たに整備し、郷土学習の場、観光資源として活用する。平成28年4月に開館し、運営を開始している。
13	首都圏等修学旅行誘致事業 (秋田市観光myタクシー)	修学旅行生等の受入を推進するため、新たな観光資源の発掘と磨き上げを行い、「体験できる秋田市」のコース作りを推進するとともに、それをPRし、本市滞在型・体験型観光の充実を図る。
14	国指定名勝如斯亭庭園 保存整備事業	国指定名勝如斯亭庭園を将来にわたって継承するために、庭園や建物の修復と、公開活用に向けた整備を行います。
15	秋田市アンダー35正社員化促進 事業補助金	若年者の安定した雇用の拡大による地元定着を図るため、35歳未満で6か月以上勤務している非正規雇用者を正規雇用転換した市内企業に対し、1人当たり20万円を3年間交付します。
16	園芸振興拠点施設 (みのりあ)	県都の強みを生かした都市近郊型周年農業の確立を目指した施設で、園芸に特化した新規就農研修等による園芸農家の育成や新エネルギーを活用した周年栽培の構築などにより、総合的な園芸振興拠点施設として園芸生産の拡大に取り組んでいます。
17	農業ビジネス関連施策(6次産業化、農商工連携、都市農村交流)	秋田市総合計画に掲げた地域産業の競争力強化と雇用の創出を達成するため、農業ビジネス関連施策を同一担当で所管し取組を推進しています。
18	あきた次世代エネルギーパーク 事業	市内に設置された数多くの再生可能エネルギー施設を気軽に見学できるよう、見学受付窓口の設置や説明員の無料派遣、市有バスの手配などの総合的なサービスを行なうなどして、市内外からの見学者を積極的に受け入れております。
19	もったいないアクション	食べ物を大切にせずおいしく食べきることを啓発する取組「もったいないアクション」を下記のとおり進めています。 ①「食う～べえタイム」の提案 宴会等の開会から30分間と閉会前の最後の10分間を「食う～べえタイム」として自分の席でお料理を楽しむ時間を設定し、出された料理は残さずおいしく食べきましょう！という呼びかけを行っています。 ②「もったいないアクション協力店」のご案内 啓発ポスターや「食う～べえタイム」用の卓上POPの設置など、食べ残しを減らす取組に協力いただいている市内の飲食店等を、市のホームページで紹介しています。
20	ごみ処理施設の運営および維持 管理事業	総合環境センターでは、一般家庭から出た多様なごみを受け入れ、資源化し、溶融処理した時の熱エネルギーがどのように有効利用されているのかを知っていただくため、市内外からの施設見学者を受け入れています。
21	千秋公園さくら景観整備事業	千秋公園の優れたさくら景観を次世代へ伝えていくため、千秋公園さくら再生基本計画に基づき、さくらの樹勢回復や更新などの整備をします。 また、事業費の一部として、市民等から寄附されたさくらファンドを活用しています。
22	道路除排雪車両運行管理システム	ダンプトラックと小型除雪機械を除いた除雪車両に位置取得端末器を取付けることにより、除雪車両の位置や作業状況などをインターネット経由で情報発信するほか、効率的な車両管理に活用しています。

番号	対象事業	事業概要
23	中心市街地循環バス運行事業	中心市街地の一体的活性化を図る一助として、主要スポットを循環するバスを運行しています。
24	多世帯同居・近居推進事業	世帯が同居又は近居するために必要な住宅の改修等や賃貸借契約に係る費用に対し補助します。
25	「はばたけ 秋田っ子」教育推進事業	学校の枠を超えた交流活動をとおして、感動を分かち合い、豊かな感性をはぐくみます。 ①学校群合同体験活動 ②中学校文化フェスティバル ③中学生サミット
26	「学校きらめきプラン」支援事業	校長の経営方針に基づき、各校が重点的に取り組もうとする教育活動に対し、学校規模に応じた予算措置を行います。
27	かぞくぶっくぱっく事業	多彩な内容かつ世代別の本を5冊詰め合わせた福袋的なパックを用意して貸出し、子育て世帯の読書環境づくりを支援します。
28	救急業務ワーキンググループ	教育体制構築、応急手当普及啓発、救急事例調査研究(自殺対策、入浴事故、転倒調査など)、高齢化社会対策調査研究(地域包括ケアシステムなど)の4つのワーキンググループにおいて、日々の救急活動の諸課題を調査し、より効果的な活動ができるよう創意工夫しています。
29	AED設置施設標章、救命講習修了標章交付事業	自動体外式除細動器(以下「AED」という。)を設置し、従業員等が必要な講習を受講している等、一定の要件を満たした施設に対して標章を交付しております。来年度からはAED設置に限らず一定の救命講習を修了した事業者に対し、救命講習修了標章を交付します。
30	仁井田浄水場更新事業	将来にわたりより良質な水道サービスを維持するため、施設の老朽化が進む仁井田浄水場の更新に着手する。更新にあたっては、将来の水需要に合わせた適正規模、将来世代の負担軽減に資する経済的な更新手法、浄水処理方式、高度浄水処理の導入などを検討する。
31	処理機能統合事業	汚水処理の効率化のため、八橋処理区の汚水処理を県の秋田湾・雄物川流域下水道(臨海処理区)へ機能統合する。
32	農業集落排水施設機能強化事業	農業集落排水施設の処理機能維持を図るため、隣接する処理区との集約や公共下水道への接続を進める。
33	予算決算委員会	当初予算及び補正予算並びに決算の審査に当たり、これまでの分割付託を改め、予算決算委員会を設置して議案を付託し、既存の4常任委員会(総務、厚生、教育産業、建設)を分科会と位置づけ、所管ごとに分担して審査を行っています。

番号	対象事業	事業概要
34	議場システム	新庁舎建設に伴い、新議場にはタッチパネル式でカメラの移動やマイクのON・OFF、テロップの表示のほか、電子表決システムを備えた議場システムを設置しました。また、議場に65インチのディスプレイを4カ所に設置し、それぞれに異なった画像情報や電子表決の結果についても表示できるようになっています。
35	期日前投票	全国に先駆けて、駅構内およびショッピングセンターに期日前投票所を設置し、投票率の向上に努めている。